

～元気の出るエピソード～

今月は地域医療相談室の業務の中でのエピソードをご紹介します。

私たち地域医療相談室は、地域の方々や医療機関、介護施設からのご相談、適切なサービス利用等のご紹介、当院への入院案内、ご入院中のお困り事、退院に向けての施設紹介や調整等、多岐にわたり、たくさんの方々とのつながりを大切にしております。

その中でも、ご家族の方が認知症の症状かもしれない、ということでご相談いただくも、ご本人が受診を拒否する、といったご相談をよくいただきます。

これは私見ではございますが、ご家族の方に受診を促されると余計に拒否したり、怒り出してしまう方も多くいらっしゃると思います。そんな時には、是非私たち地域医療相談室にご連絡いただき、まずは健康観察からご自宅へ訪問させていただき、ご家族、ご本人とお話をさせていただきながら、受診を促すことで、「ずっと嫌がっていたのに、すんなり受診してくれた。」とご本人、ご家族が安心していただけたことがございます。

お困りの事がございましたら、どんな小さなことでもお気軽に私たちにご相談いただけましたら一緒に考えさせていただき、よりよい生活のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

QOL推進部部長 稲橋秀樹

診もり短歌

コロナ下の外来デイケア
手指消毒、検温すませてマスクして
老いから入りくる デイケアホール
Dr.ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 5月号

発行日 令和3年5月1日



4月1日より、病院長に着任しました窪山泉です。白濱前病院長に引き続いて、全力で診療に務める所存です。

私たちは、病院・ものわすれ外来・訪問看護(よつば訪問看護リハビリステーション)・デイケア(認知症デイケアわかば)・相談室(地域医療相談室)が一体となって、蓮田市および近隣地域の認知症を中心とした疾患を持つ患者さま・ご家族さまの医療福祉を担うことに務めます。

「私たちは大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい！」を目指すために、患者さまと従業員と社会の全ての満足をみたくTS (Total Satisfaction)と、慈愛charity、協調cooperation、創造creation、挑戦challengeの「4Cのころ」を進めています。

新型コロナウイルス感染症対策は喫緊の課題です。当院では、複数の非接触体温計設置、頻回の手指アルコール消毒、隔壁(パーティション)設置、室内外の徹底換気などを実施しています。本年3月18日より院内でのPCR検査を開始して、より迅速に対応できるようになりました。4月19日より全職員への新型コロナウイルスワクチン接種を開始しました。また、患者さまのワクチン接種も近々予定しています。新型コロナウイルス感染症から治癒された患者さまのその後の療養も行っています(埼玉県後方支援医療機関)。

新型コロナウイルス感染症には長期の粘り強い対策が必要です。準備を整えて、上質な医療を継続的に提供できるよう、今後も最善を尽くします。

病院長 窪山 泉



～よつばご飯～



※写真はデイケアの写真となります。

春と言えばやはり桜です。皆さまも桜の花を見ることで春の訪れを実感するのではないのでしょうか。季節を感じるという事も脳への刺激となり、その刺激が認知症の治療にも効果があると考えられています。桜の季節には毎年、桜を混ぜ込んだ混ぜご飯を提供し、味覚からも桜を感じ取れるようにしております。他のおかずも春らしい食材を沢山使いました。

献立
主食:桜寿司
主菜:鯖の香草焼き
副菜:きゅうりの梅和え
副菜:桜色焼売
汁:豆腐と小松菜の味噌汁

栄養価
エネルギー:573kcal
たんぱく質:29.0g 脂質:17.9g
炭水化物:71.5g 塩分:4.2g
※行事食につき、栄養価は若干高めになっております

管理栄養士 水野俊

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症外来	鈴木	泉	泉	鈴木	鈴木・泉 (隔週)	休診
	根岸		一木(5/12、5/26のみ)			
一般内科	白濱・窪山		白濱・窪山	窪山	窪山	
午後(新患のみ)		鈴木		泉		休診

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日
10:00～12:00

はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

はすカフェは現在中止しております。

※入院患者様への面会を全面禁止とさせていただきます。ご了承ください。
スカイプを利用したのオンライン面会は予約制のためご連絡ください。

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

看護部の取り組み

看取りケアの振り返り

～グリーンカンファレンス導入後の一考察～

3階病棟 佐藤美佐江・森有子・千葉雅英・山田志保
吉田友美・小林恵梨奈・堀之内陽子

「はじめに」

認知症患者様は自分の意思を言葉で表すことが難しいため、私たちには患者様の気持ちを汲み取る代弁者となる必要がある。亡くなった方々の残してくださった私達へのメッセージとして、令和2年度より看取りケアの振り返りをグリーン(悲しみ)カンファレンスと名付け行っている。その結果、見えてきた課題と事例研究を報告する。

「事例紹介」

- ・女性 84歳 アルツハイマー型認知症 肺癌
- ・独身。独居生活で動けなくなり民生委員を通じて入院に至る。若いころは東京で着物の仕立てをし、自分の事は自分でしたい性格である。

「方法」

- ・日々のケアの中で本人の意思を確認しながら行う。
- ・朝の挨拶など積極的に担当者以外も声掛けを行う。
- ・多職種で連携をとる。
- ・全身状態を観察し苦痛の軽減に努める。

「考察」

ケアスタッフの中には若年者もあり、死に直面した経験がないものも多い。「さみしくないよう声を掛けていきましょう」などひと声かけることによりスタッフ全員で関わることができた。以前は看取りの段階に入ると、看護師が主体となってケアを行っていたが、カンファレンスを行うことにより、「スタッフ全体で看取りケアを行う」という意識変化をもたらしたと考えられる。

今後の課題として、家族様に対する援助をきめ細かく行い、患者様の死を受け止め後悔の少ない看取りができるよう援助していきたい。また、患者様の苦痛を取る援助を医師やスタッフ、家族様で話し合い点滴はどうするのか、痛みの緩和はどうするのかなど、どのような形での看取りを希望されるか意思の統一をしていく必要がある。

引用・参考文献

- 1) 桑田美代子: 認知症者のエンド・オブ・ライフ・ケア. 日本看護協会, 認知症ケアガイドブック, 照林社, 2016.
- 2) 平方眞: 看取りの技術, 日経BP社, 2017.



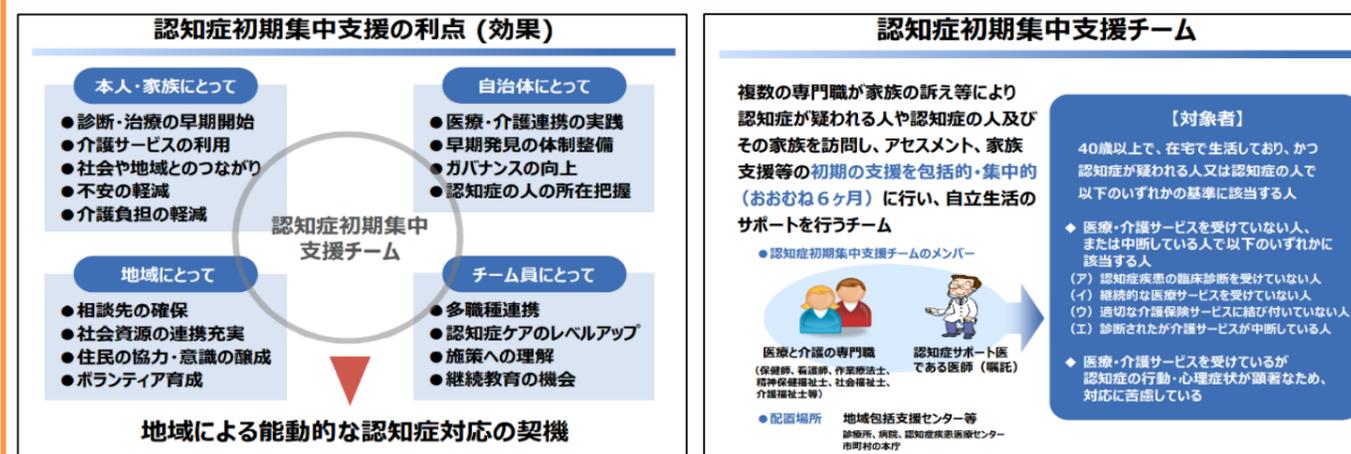
QOL推進部からのお知らせ

蓮田市

認知症初期集中支援チーム

今月は、初期集中支援チームについてご紹介させていただきます。

当院では、今年度も蓮田市より委託を受け、認知症初期集中支援チームを病院内に設置し、運営しております。内容は、下記の図にもお示しいたしますが、認知症の症状が疑われる地域にお住まいの方々に対して、専門のスタッフがご自宅や施設へ訪問し、病状や生活環境、ご本人、ご家族の状況を確認し、よりよい生活環境を調整していくためのお手伝いをさせていただきます。



初期集中支援チームの概要

初期集中支援チームの利点(効果)

お困りの事がございましたらお気軽にお問い合わせをいただけましたら、専門スタッフ(医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士)が共に考え、ご対応させていただきます。

蓮田市認知症初期集中支援チーム一同

～よつば病院作業療法風景～

喫茶レク活動



今月の予定

○誕生会 2階・3階病棟
随時おこないます

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させていただきます。ご了承ください。